

《育成を目指す資質・能力》

- ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使う力。 【知識及び技能(3)イ】
- ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ力。 【思考力・判断力・表現力等C(1)エ】
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度。 【学びに向かう力、人間性等】

1 単元名 「高岡中学校版『論語』解説書」を作ろう

～『論語』に表れているものの見方や考え方から、身近なことについて思いを巡らせ、自分の考えをまとめる～

2 教材名 「論語」(東京書籍『新しい国語3』)

3 単元について

(1) 教材観

『論語』は古くから読み継がれてきた古典作品である。紀元前551年頃に生まれたとされる孔子の言行を記録したものであるが、そのような、はるか昔の人物の考えが、日本人の価値観に少なからぬ影響を与え、現代の日本人にも通じる部分が多くあるということは大変興味深い。また、それが日常生活と結びつく場面も多くあることから、生徒自身も納得することができたり、これからの教訓として受け入れようとしたりすると考えられる。したがって、『論語』を学習することは、古典作品を学習する意義を改めて考えることにもつながる。

本教材は、中学三年間の古典学習の締めくくりとして位置づけられており、生徒それぞれが人生の次のステップへと踏み出そうとする時期に、孔子の言葉に触れ、自己の在り方や社会の在るべき姿等、今後の人生に思いを馳せるきっかけとなる教材である。人間、社会、自然などについて、自分の考えを広げたり深めたりし、これからの社会を担う人材として、自分の意見をしっかりとつとめることは重要なことである。したがって、『論語』をきっかけにして、さまざまな考えに触れて自分の考えを深め、自己や社会について見つめ直す機会としたい。

(2) 生徒観

令和5年度全国学力・学習状況調査の自校採点において、本学級の生徒に見られた課題は、大問4四、第1学年「読むこと」C(1)エ、大問1四、第1学年「話すこと・聞くこと」A(1)エであった。大問4四は古典作品が取り扱われているが、普段の授業において、古典作品への抵抗感がある生徒が多く、現代まで親しみ受け継がれてきた古典作品の良さを感じることができる生徒は

少ない。また、出題の意図である、文章の構成や展開、表現の効果について評価することに課題があった。二つの文章（『竹取物語』の原文と星新一が書き改めた文章）を比較し、言葉の細かい意味を捉えたり、その言葉を用いた意図等を考えたりする力が定着していない。さらに、この問題に関しては無解答率も高く、言葉の意味や働き、使い方に着目して思考することや、見方・考え方を働かせた授業の展開、指導を丁寧に行う必要がある。

大問1四では、自分の考えを書くという点に課題が見られた。文章を読み取り、星野さんの話の内容を取り上げることはできているものの、「社会で働く上で大切なこと」に関する、自分の考えを形成することにつまずきがあったと予想される。様々な文章や人の考えに触れ、そこに表れているものの見方や考え方から、人間、社会、自然などについて、自分の考えを形成していく必要がある。さらに、社会生活の様々な事象についてより広い視野をもつことも必要である。

本学級の生徒は、積極的に取り組める生徒が多く、グループで教え合ったり、意見交換をしたりなど、交流することに前向きである。そこで、互いに考えを交流することで、より自分の考えを広げたり深めたりさせる場を設定した。その際、読んで理解したことと、自分の知識や経験をつなげ、『論語』を引用するといった既習を生かして分かりやすくまとめさせるようにしたい。

### (3) 指導観

令和5年度全国学力・学習状況調査で見られた課題から、文章を読んで理解したことをもとに自分の考えを広げたり深めたりする力、また人間、社会、自然などについて自分の考えをもつことが必要であると考えられる。本単元を通して付けたい力の一つに社会や自然について自分の考えをもつことがある。『論語』に見られる孔子の考えを理解するには、『論語』の本文を読むだけでなく、身近な体験や事例と関連付けることで、理解が進むと考える。したがって、言語活動に「下級生に分かりやすく伝える」という目的を設定することで、相手意識をもたせ、よりわかりやすく伝えようとする意欲をもって授業に臨ませたい。本校には、毎年卒業生が漢字一字を選び、その漢字を選んだ思いを下級生に託していくという伝統がある。選ばれた漢字は、卒業式や次年度の入学式の壇上に大きく飾られ、その漢字に込められた思いを、下級生が引き継いでいっている。この、「下級生に伝えていく」という取組は、本校の継続した取組でもあるので、それと関連付けた授業展開をしていきたい。

また、『論語』の内容と身近な体験や事例を結び付け、わかりやすく表現しようとすることは、言葉による見方・考え方を働かせることでもある。事象と言葉との関係を考えたり、言葉を言い換えたり補足したり、言葉の使い方に着目して捉えたりする等、言葉にこだわって表現することを指導していきたい。

本単元では、さまざまな意見や考えに触れさせるために、より多くの『論語』を読む機会を設定し、朝読書の時間や家庭学習も活用するようにしている。さらに、『論語』に表れたものの見方や考え方を自分の知識や経験と結び付け、友達の考えと自分の考えとを比較して得た新たな気づきや考えが、今後の自己の生き方や社会の在り方についての考えを深めるきっかけになるように仕組んでいく。

#### 4 単元の見込み

・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。

【知識及び技能（3）イ】

・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。

【思考力・判断力・表現力等C（1）エ】

・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。

【学びに向かう力、人間性等】

#### 5 本単元における言語活動

『論語』を読んで、その言葉に表れている孔子の考えを分かりやすくまとめ、伝え合う。

（関連：【思力・判断力・表現力C（2）イ】）

#### 6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 【(3)イ】	①「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【C(1)エ】	①積極的に様々な論語に表れている考えを知り、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、紹介しようとしている。

#### 7 指導と評価の計画

時数	○指導のねらい（目標） ・学習内容、学習活動	評価	
		評価規準	評価方法
1	○『論語』について知り、学習課題の見通しをもつ。 ・作品の概要をまとめる。 ・単元のゴール、「高岡中学校版『論語』解説書」を作ることを確認する。 ・漢文の読み方（訓点）の復習をする。		
2	○『論語』に表れている孔子のものの見方や考え方を捉える。 ・『論語』の五つの節を確認する。 ・『論語』の五つの節に表れているものの見方や考え方が何かを個人で考える。 ・全体で共有する。	【思考・判断・表現】① ここでは、『論語』に表れているものの見方や考え方について自分の意見をもっているかを確認する。	ノート 振り返りシート

3	<p>○各グループで解説文を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の『論語』の五つの節を読んで、自分のものの見方・考え方を書く。</li> <li>・五つの節の中から、先生が選んだ1つの節を例として、グループごとに解説文を作る。</li> <li>・グループごとに発表する。</li> <li>・自分のものの見方・考え方と比較する。</li> </ul>		
4	<p>○「高岡中学校版『論語』解説書」を作るために、『論語』から各自が選んだ文章の体験や事例を考える。</p> <p>※今までに読んだ『論語』の中から一つ選んだ節と大意は、4時間目までにワークシートに書かせておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解説文を書く。</li> <li>・自分が選んだ『論語』の節と大意をスライドにする（6時間目の発表の際に活用）</li> <li>・言葉にこだわって表現する。</li> </ul>		
5 (本時)	<p>○「高岡中学校版『論語』解説書」を作成し、自分の考えを広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に考えた解説文を推敲する。</li> <li>・グループで紹介し合い、友達の考えを知る。</li> </ul> <p>※孔子のものの見方・考え方について、新たに気づいたことや感じたこと、考えたことをメモする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共有で気づいたこと等をもとに、自分の解説文に加筆・修正をする。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】①</b> ここでは、適切に『論語』を引用して、下級生に伝わるようにわかりやすく書けているか確認する。</p> <p><b>【思考・判断・表現】①</b> ここでは、友達の意見から自分自身の考えの広がりが見られたかを確認する。</p>	ワークシート 振り返りシート
6	<p>○表現の仕方を工夫し、「高岡中学校版『論語』解説書」を分かりやすく紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級内で発表し、単元の振り返りをする。</li> </ul>	<p><b>【主体的に取り組む態度】①</b> ここでは、積極的に様々な考えを知り、自分の考えを紹介したり、まとめたりしているかを確認する。</p>	観察 振り返りシート

8 本時の指導計画（5／6時間）

（1）本時の目標

- ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。

【知識及び技能（3）イ】

- ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。

【思考力・判断力・表現力等C（1）エ】

（2）本時の評価規準

- ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 【知識及び技能（3）イ】

- ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。

【思考力・判断力・表現力等C（1）エ】

（3）準備物

ワークシート、クロームブック

（4）本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法 ☆Cの生徒への手立て
事前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書の時間を使って、『論語』を事前に読ませておく。（並行読書）</li> <li>・クロームブックを使った電子書籍も利用する。</li> </ul>		
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時を振り返り、本時の課題を確認するとともに学習の見通しをもつ。</li> <li>・引用するなどして分かりやすくまとめ、説明するためには、どのようにすればよいかを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に書いた各自の解説文を振り返らせる。</li> <li>・現代に通じる体験や事例を用いることや、言葉を言い換えたり、補足したり、似ている言葉（ことわざなど）で説明したりすることだと確認させる。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     課題 よりよい『論語』解説文を作成するためのポイントを考えよう。                 </div>			

<p>展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に選んだ『論語』の文章の解説文を個人で推敲する。</li> <li>・グループで共有する。</li> <li>・クロームブックで、自分のグループ以外の「解説文」を見る。</li> <li>・自分の解説書を読み直し、加筆・修正する。</li> <li>・グループでの交流を踏まえて、自分の考えをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことを伝えたいのかを意識させる。</li> <li>《生徒指導の三機能》 自己決定：心に残った『論語』や共感でき、下級生に伝えたいと思う論語を選択する。</li> <li>・相手意識をもった分かりやすい具体例、言葉にこだわってまとめさせる。</li> <li>・自分の作成した解説文と比較し、工夫点や納得した点、分かりやすいと思った点の視点で聞き合うように指示する。</li> <li>《生徒指導の三機能》 共感的人間関係：お互いの解説文を認め合い、自分の考えに活かす。</li> <li>・クロームブックを使って、全体で共有させる。</li> <li>・『論語』と具体例がつながっているか、事例が分かりやすいものであったか、引用が適切か等の視点をもたせる。</li> <li>・自分の考えの深まりに着目させる。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能①】</b> <u>ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここでは、適切に『論語』の文章を引用して、下級生に伝わるようにわかりやすく書けているか確認する。</li> <li>（おおむね満足できる状態（B））</li> <li>体験や事例、引用や似ている言葉での言い換え等をして、わかりやすく表現している。</li> <li>☆『論語』の読み取りのヒントカードを準備し、似ている体験を見つけるように支援する。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現等①】</b> <u>ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここでは、友達の見解から自分自身の考えの広がりが見られたかを確認する。</li> <li>（おおむね満足できる状態（B））</li> <li>・友達の見解から、自分の生活に関連付けて考えをまとめている。複数の『論語』に触れることによって、自分の考えに活かしているかを確認する。</li> <li>☆友達の見解のいいところ、初めて知ったことを見つけるよう促す。</li> </ul>
-----------	--	--	--

まとめ	<p>まとめ 『論語』を読んで理解したことと自分の経験を関連付けて、適切に結びつけることで分かりやすくなる。</p>		
	<p>・振り返りをする。</p>	<p>・振り返りは二つの視点（本時で学んだことやできるようになったこと、グループ共有から学んだことや気づいたこと）で書かせる。</p>	<p>☆分からなかったことや、難しかったことも書くように伝える。</p>
<p><b>【振り返りの例】</b></p> <p>・『論語』には、人として大切にしなければならないことなど、現代の私たちの生活にも通じるものが多くあった。だから、現在まで長く受け継がれてきたのだと実感した。</p> <p>・下級生に分かりやすく伝えるためには、『論語』を読んで理解したことと自分の体験とが関連付いているかを確認し、古典を引用したり、身近な言葉に置き換えたりして論語の内容が分かりやすく伝わるかどうかの視点をもつことが必要だと分かった。</p> <p>・友達の解説文を聞いて、自分にはない考えを知り、そんな考え方もあるのだと納得した。</p>			

〈板書計画〉

「高岡中学校版『論語』解説書」を作ろう

『論語』に表れているものの方や考え方から、身近なことについて思いを巡らせ、自分の考えをまとめる

課題 よりよい『論語』の解説文を作成するためのポイントを考えよう。

わかりやすく伝えるために

**体験**

**具体例**

言葉の言い換え

似ている言葉（ことわざ）

**補足**

**(例)**

高岡中学校版  
「論語」解説書

まとめ 孔子のものの見方や考え方をしっかり捉え、中学生に身近な例を挙げたり、引用したり相手に合わせて言葉を言い換えたりすると、より分かりやすく伝えることができる。

振り返り

- ・本時で学んだことやできるようになったこと
- ・グループ共有から学んだことや気づいたこと